

おおくら 議会だより



大蔵っ子たくさん食べて スクスク育て!!

もくじ

年頭のごあいさつ	2P
12月定例会	3~4P
一般質問	5~11P
所管事務調査報告	12P
編集部特集	13P
そうだったの! 村議会	14P

風水にふれる里
第 **110** 号
2017.新春

発行／
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集／議会広報調査特別委員会 年4回発行
印刷／共栄印刷株式会社

年頭のごあいさつ



議長 鈴木 君徳

新年明けましておめでとうございます。
新春を御家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。
本村議会活動につきましては、日頃より格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年を振り返ってみますと、台風9号による災害が多くありました。大蔵村でも、赤松川の氾濫、特に平林地区や赤松地区の被害は甚大なものでした。
日本全体をみても、熊本や鳥取、福島などで地震の被害を受けました。一日も早い復興を願うばかりです。
さて、村の基幹産業の稲作については、平年並みに確保され、また園芸作物は高値で販売されたことが唯一の救いでありました。
これからも地方財政はより厳しい状況になります。そんな中、本村では農業・産業振興・少子化対策・高齢化・人口減少抑制に、より一層努力して参りたいと思っています。
昨年より議会改革として、議会報告会を始めました。議員を2班にわけ、住民との対話を重点において各地区を廻っています。皆さんから頂戴した貴重な意見を村政に活かしたいと思っています。
最後に酉年ということで、酉のつく年は、商売繁盛につながると考えられているそうです。「酉」は取り込むに繋がるといわれ、そこから運氣もお客も取り込めるということ、大蔵村全体が繁栄すること、そして村民皆様が幸多き一年になります様、心から御祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

本年もよろしく
お願いいたします。

議長 鈴木 君徳

副議長 加藤 忠己

議員 中島 幸夫

長南 正一

八鍬 信一

矢口 智

海藤 邦夫

佐藤 勝

早坂 民奈

佐藤 雅之



災害復旧・大型事業 補正予算可決

平成28年度
補正予算

12月
定例会

条例等の改正

- ★農業委員会の委員の定数に関する条例制定
(委員の定数を7人に定めるもの)
- ★農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定
(委員の定数を4人に定めるもの)
- ★税条例の一部改正
(修正申告時の延滞税の規定変更)
- ★一般職・特別職の給与、勤務時間に関する条例改正
(県の人事委員会の勧告に伴うもの)
- ★防災会議条例の一部改正
(会議の構成人数の変更)
- ★村営バスの区域外設置に関する協議
(山交バス廃止後の村バス運行に関するもの)

人事案件

- ▼教育委員の任命に同意
早坂八千代氏・豊牧(再任)

補正予算

- 一般会計補正予算他6会計
(村営バス運行、水力発電事業等の補正、災害復旧費の増額)



平成28年度補正予算

	補正額	総 額	主な補正内容
① 一般会計	1億800万円	42億 900万円	村営バス運行委託、災害復旧費の増
② 国保会計	▼450万円	5億4800万円	後期高齢者支援金等の減
③ 簡易水道	▼230万円	1億9360万円	事業費の精算
④ 下水道	60万円	1億5990万円	管理費の増
⑤ 診療所	90万円	2億3070万円	修繕料の増
⑥ 介護保険	2620万円	4億3720万円	保険給付費等の増
⑦ 浄化槽	▼220万円	2750万円	事業費の精算

ここが知りたい

村政を問う

一般質問
12月
定例議会



一般質問とは？

村政全般に対し議員が質問し、意見を述べ村政をたどしていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

(議会報告会始まる：肘折センター 12月12日)

6議員が一般質問

6P 加藤 忠己 議員

- 来年度予算の重点と財源確保の手立ては？
- 「小水力発電」、「農産物加工施設」の進捗は？
- 4棟目の「子育て支援住宅」建設はいつ？他

8P 佐藤 雅之 議員

- 「現代版湯治」の強みと課題は？
- 教育と観光の視点で歴史資料室整備を急げ
- 歯科訪問診療の充実を図れ

10P 早坂 民奈 議員

- 公共施設の耐震性と利用状況、今後の運営は？
- 誇れる歴史資料を後世に残し子どもたちの情操教育を図れ

7P 佐藤 勝 議員

- 国道458号線改良に伴う「翠明荘」の防災、防音対策は？
- 村長3期目前半の村政総括は？

9P 八鍬 信一 議員

- 基盤整備と併せて赤松・烏川地域の消流雪溝整備を図れ
- 農産物加工場、村民へのメリットは？

11P 海藤 邦夫 議員

- 道路改修で、村道合海一大坪線の冬季一部閉鎖をなくせ
- 季の里団地への通り抜け道路を

補正予算関連

大型事業の骨格固まる

村が進めている、大型事業に関する補正予算を可決。
新規の事業が動き出します。

升玉水力発電事業

国や県の自然エネルギー活用政策の後押しを受け、銅山川の砂防ダムを利用した水力発電事業を計画。

設置場所は升玉地区にある「升玉砂防ダム」左岸。

- ◇使用水量 毎秒6 t 程度
- ◇最大出力 450～500 k w程度
- ◇取水方式 ダム本体の側部に開口部を設け取水
- ◇有効落差 9.5m
- ◇発電形式 立軸プロペラ水車形式
- ◇事業費 **8億円強**
- ◇事業形態

村と、水力発電事業を全国で展開する大手企業日本工営(株)の子会社「(株)工営エナジー」に、最上で再生エネルギー事業を進める「もがみ自然エネルギー(株)」を加えた3者が出資・運営。
◇完成予定 平成30年度中

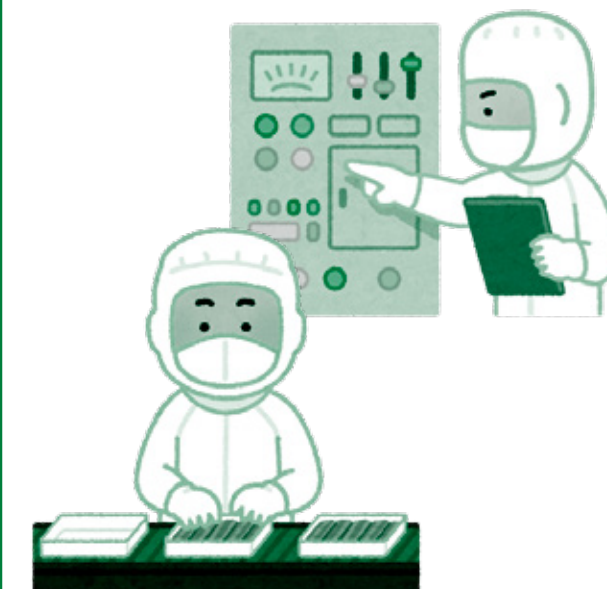


農産物加工場建設

村内の農産物等の有効活用や雇用の確保、地域の活性化を目的とした農産物加工場の計画が進められ、平成28年12月に(株)三和食品の大蔵工場としての立地が決定。

【貸工場として村が建設。(株)三和食品が使用】

- ◇建設地 大蔵村大字合海(大坪)地内
村道清水・大坪線(福田工業団地への道路)沿い
- ◇取得用地 3,020㎡
- ◇工場面積 約800㎡
- ◇事業費 **総額：2億6,500万円**
用地買収費：600万円
基本設計費：300万円
用地造成・井戸工事：3,600万円
建築・設備工事等：2億2,000万円
- ◇業務内容 農産物、山菜等の加工・販売
- ◇操業予定 平成30年4月





加藤 忠己 議員

平成29年度の施政方針と 予算編成の考え方

村長 効果的な施策の展開を図り、積極的な村政運営を目指す

問1

①緊急性の高いものや政策予算編成の重点はどこに置くか、財源の確保や税収入の試算は行っているのか。

答1

①総合計画の着実な展開と推進に向け、村民の立場に立ち展開する。
財源確保は財政構造の弾力性を保持し、持続可能で安定的な財政運営を堅持する。経費の節減、スクラップ&ビルドなどの事業の見直し、コスト意識の徹底を図る。税収入は昨年度と同

額の予定、現在予算編成の作業中。
②小水力発電事業は、現時点で総事業費8億数千万元程度を予定。完成年度は30年度中。

問2 小水力発電事業は当初より大幅に変更され、出力も半分、業務委託料も高額で大丈夫なのか。
加工場は企業の大蔵工場になるのか。

の説明資料を作成中で、提出後5カ月位で認可の予定。委託料5000万は事業認可のために必要な最小限度の調査費。
(加工場)
企業誘致の貸し工場形態で、大蔵工場となる。

答2

(小水力発電事業)
水量の見直しと軟弱な地盤により計画変更等、国へ



加工場建設始まる



佐藤 勝 議員

①翠明荘の防災、避難道路の確保、防音対策は ②基本方針の進捗状況

村長

①必要性を県に訴えて行く
②「少子化対策、足腰の強い農業、人づくり教育の充実」を

問1

①国道458号の工事にて、翠明荘のそばに道路ができる。避難用の取り付け道路や、騒音対策の防音壁の設置は。
②任期の半分近くが経過したが、公約した基本方針の中から
・少子化対策と定住の促進

・足腰の強い農業の振興
・人づくり教育の充実

の3点について効果や進捗状況を具体的に示して頂きたい。

答1

①バイパス側に幅員4Mの取り付け道路計画があり、緊急の救急搬送や避難路として利用可能となる。防音

壁は計画にないが、必要性を県に訴えていく。

②・子育て支援を中心に、

家庭における、子育て支出の軽減を図る施策を進めてきた。今後も、多方面にわたり事業を展開してゆく。

・新規就農者への総合支援事業、園芸施設整備に対する村独自の補助、圃場整備事業を進め、山間地農業は

花卉、山菜の栽培推進。又、加工場の建設を着手している。

・学習意欲を高め、学力向上を目指し、ふるさと学習や体験学習を積極的に取り入れ、みらいに繋がる施策を行っている。社会教育では、各種事業で村民の生きがいづくりを推進。

問2

①加工場への作物を村内産で安定供給するために、早急に煮詰めるべきだ。
②定住住宅地造成が最優先。土地選定は決定したのか。
③海外研修は有給休暇が取れる人や家族構成に恵まれた人に限られる。旅行に行った認識しかないのでは。

答2

①活かせるよう早急に、考慮する。
②地権者への配慮のため、まだ公表できない。
③村に愛着と自信を持ってもらう事業であり、全ての若者が参加することは難しいが、広く若者が参加できるように考えたい。



バイパス側より翠明荘を望む



佐藤 雅之 議員

村が考える「現代版湯治場」とは？

村長 オール肘折で合意形成を

問 地方創生事業でも「現代版湯治場」というキーワードが出てくる。今日の客層は変化し「消費者意識」が高く、サービスの「質」も厳しく求められる。「現代版湯治場」が何を受け継ぎ、何を革新するのか。村の現状分析と課題解決の意気込みは。

答 現代の湯治は、ストレスや未病、生活習慣病対策としての湯治スタイルに変わってきていると考える。肘折の「強み」は、永きにわたる湯治文化に支えられた誇りとノウハウであり、

「課題」は各取組みに關しての合意形成と全員参加体制の欠如にある。今回の地方創生加速化交付金を利用し、課題を克服したい。また、湯治文化という財産の気づきを「機会」と捉えた。肘折温泉は「秘湯中の秘湯」であり、競合からの差別化は充分図れる。

ただ、村・役場が考える「現代版湯治場」ではだめ。宿泊客の減少が依然回復しない危機的状況を打開するには、まず、地元オール肘折で、合意形成を図ることが重要。

るため、開設までには準備の時間を要する。



上竹野遺跡発掘風景

「歴史資料室」の早期整備を 教育長 現在ある施設を利用して

問 大蔵村は、最上川舟運で栄え、永松銅山など日本有数の鉱山を誇った。また、上竹野遺跡の発掘調査もなされ、先人たちの暮らしぶりも明らかになった。村の総合戦略の中にも「歴史資料室整備」が明記されている。郷土の歴史教育と合わせ、史跡めぐりや現場体験など「観光」の視点も取り入れた「歴史資料室」の早期整備を求める。

答 総合戦略に掲げてある「歴史資料室」は、例えば、赤松生涯学習センターの一部屋に展示スペースを設け、そこに歴史的資料を展示するなど、現在ある施設を利用する考え。開設にあたっては、気軽に見学でき、充実した資料と何かしらの小さな体験ができる資料室にしたい。そのため展示品の選定、陳列方法など、専門的機関の助言等も必要にな

歯科訪問診療の今後の展開は？

村長 来年度、人員体制確保を図る

問 内科の訪問診療（往診）と同様に、歯科についても歯科医師や歯科衛生士などの人材連携で、歯科訪問診療を充実できないか。

答 要介護高齢者に対する歯科専門職による口腔ケアは、「誤えん性肺炎」の防止や全身疾患予防や食支援の観点からも重要。来年度は歯科衛生士を常勤2名体制

とし、訪問口腔ケアに従事できる人員体制の確保を図る。また、医科、歯科連携・他職種連携の充実も図っていく。



八鉏 信一 議員

消流雪溝（赤松・烏川地区）の整備計画は？

村長 引き続き県へ要望

問 「烏川・赤松基盤整備事業」については、完成の見通しが見えてきた。同時に進められている「赤松ため池事業」も、平成29年度に工事が終了し冬季間の通水が可能となる予定。

平成26年に作成された「赤松烏川地区流雪溝基本計画設計」では、流雪溝整備事業も基盤整備事業と共に進めることとなっていたが、その進展が見られない。消流雪溝は基盤整備による水路との関わりが多く、

水路網・排水終末口などをどうするか関係機関と早急に検討協議をするべき。

答 本事業で重要である水源は、改修中の「赤松上堰用水路」となる。この水路の改修で下流域の農地の土砂流出を防ぎ、農業用水が安定的に確保され、農業所得の向上が期待される。平成30年までに完了予定。水源確保と共に、基盤整備事業による用水路との共用部分については開水路とするなど、県農村整備課と

農産物加工場の費用対効果は？

村長 新領域へのチャレンジ

問 農産物加工施設事業については、事業者との仮協定も終わり、内容が概ね煮詰まったと思われる。費用対効果から見て、大蔵村の農産物利用など、村民にとってのメリットは何か。

村が設置して事業者へ貸す場合、企業誘致による雇用確保にはなるが、村全体への恩恵は少ない。農業者を含めた開発委員会等を設置し、事業者の指導のもと、大蔵村ブランド商品の開発を進めるべき。

答 最上町に本社を置く（株）三和食品と12月中旬に本協定書を締結する。平成30年4月からの試験操業を目指す。

メリットは第一に、企業誘致による雇用確保。初年度で20名を予定している。第二に、中山間地域の農業振興の受け皿づくり。加工場で買取る仕組みを構築したい。第三に、特産品開発と村のPR。製品開発した商品は「大蔵ブランド」として流通させたい。本事業は村の「新領域へのチャレンジ」。費用対効果は極めて高いと判断。

本社工場
〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富澤1330-4

■主な事業内容

- 山菜加工品の製造・販売
- 野菜加工品の製造・販売
- 和惣菜・米飯食材等の製造・販売
- しそ巻きの製造・販売

仙台工場
〒981-0134 宮城県宮城郡利府町しらかし台6丁目6-3

■主な事業内容

- カット野菜の製造・販売
- 惣菜キット商品の製造・販売
- 業務用食材の販売

農業生産法人（株）ベジファクトリー
〒987-0602 宮城県登米市中田町上沼字境前15-1

■主な事業内容

- 野菜の生産
- カット野菜の製造



早坂 民奈 議員

①中央公民館、まつぼっくり、南山交流センターの耐震及び利用状況は
②歴史資料を後世に残す手立ては

村長・教育長

①耐震化に取り組んでゆく
②歴史資料に触れる機会を提供してゆく



大蔵村中央公民館の図書室

つくりの一部が必要である。村当局と相談しながら、耐震化に取り組んでゆく。利用機関は広範囲にわたり、ほぼ毎日利用されている。図書室は小学校の貸し出しは多いが、中学校、公民館は少ない。みらい塾の成果は学習に対する、学ぼう、学びたいという意欲など積極的に取り組む姿勢が感じられる。5年を目途に運営検討を行う。

②（村長）

大蔵村史などの改定で文字として残せれば良いが、資料室の整備も考える。子どもたちの情操教育の一環として、歴史資料に触れる機会を提供する。

（教育長）

資料室の開設準備も手立ての一つ。又、学校教育の中に、村を知るための体験、地域学習の深化発展の育成授業を展開している。

問2 小学校には学習図書

館支援員が配置されており、子ども達の本に対する関心が高い。中学校への配置の動きもあり、期待している。公民館の図書室をもっと利用してもらえよう、広域的にバックアップをお願いしたい。みらい塾の目的はレベルアップか補習授業的なもののなか。

答2 支援員のおかげで充実しており、今後も図書への興味関心を育ててゆく。

みらい塾は、基礎からレベルアップが個々で違い、自分の目指すところが目的。

問3 資料館が出来ればよいが、子ども達が身近に感じ、見える工夫と、文化財保護委員やボランティアを募り、興味をもたせられないか。

答3（教育長）学校では授業の中で、村内探訪や歴史に触れる機会を設けている。形もそうだが心を大事にしたい。

問1

①身近な施設として利用されている各施設は、安全面で大丈夫か。又、図書貸し出し、わいわい広場、みらい塾等の利用状況は。

②縄文、弥生時代、清水城、肘折温泉、永松鉱山、最

上川舟運等、貴重な資料が村にはたくさんあるが、知らない人がある。村を愛する情操教育を培うためにもその手立ては。

答1

①（教育長）

耐震は中央公民館、松ぼ



海藤 邦夫 議員

村道合海大坪線、道路改修工事計画は？

村長 平成30年度に工事着工

問 福田工業団地線の新庄市側の市道も開通し、村道合海大坪線も通勤、通学等で利用する人も増えている。カーブも多く、道幅も狭いこともあり対向車同士の接触事故も多い。また、雪崩の発生も心配されるために冬季間は通行止めとなっている。道路の改修計画の内容は。

答 本路線の重要性や村民の利便性を考え、平成27年度に概略設計を行い、地理的な条件や事業費など総合的に判断して現在の道路を拡幅することに決定した。平成28年度には、一の台、ハリウ間、約1600mの路線測量と道路詳細設計を行った。地権者からも概ね賛同を得ている。

事業の概要は、同区間の道路幅員を9mに拡幅。切土法面に雪崩発生を抑制する工法を計画している。道路勾配は現状とほぼ同じだ

が、路面の圧雪や凍結によるスリップ事故が心配されるため融雪剤の散布で対応する。平成29年度に用地測量を行い、工事着工は平成30年度からになる。



通行止の道路

季の里団地に通り返け道路を
村長 地形的にも財政的にも難しい

問 現在季の里団地に行く道路は一つしかなく、事故や自然災害などが発生した場合、住民が通行できなくなる恐れがある。道路ができることによって宅地造成も見込めるのではないか。村道合海大坪線の道路改修とあわせて通り抜け道路をつなげてはどうか。

答 平成27年度の概略設計で検討した経緯があるが、季の里地区から合海大坪線の力ヤノ地区へ連絡するとすると、直高で約28mの開削（掘削）が必要となり、膨大な残土が発生し、その搬出先の確保が必要となる。また切土法面の雪崩対策など工事費も増大する。現時



あなたの出したゴミは？ リサイクルプラザ もがみ

現在のリサイクルプラザが完成した平成10年から最終埋め立て処分量を減らす努力を重ね、埋め立て量は当初の6割まで減らしています。それでも年間6000トンにも及んでいます。

昔は、「埋め立て場」「処分場」と言われていた舟形町にある「リサイクルプラザ」。現在、毎日家庭から出される缶やビン、ペットボトルはもちろん、不燃ごみや粗大ごみの中からも可能な限り資源を取り出し資源化（リサイクル）されています。ひと昔前まではこれらのごみは全て埋められていたのです。

「埋め立て」から「リサイクル」へ

「ミ」の処理のため、2つの施設を運営していることは皆さんも知っていることですが、今回は、「リサイクル」を目的とする施設を紹介し

「最終処分場」

最終的に埋め立てる処分場は、平成25年までにはいっぱいになると見込まれていました。最終処分場を新しく建設するには膨大なお金が必要のため、村の財政を圧迫することになります。しかし、わたしたちのゴミ減量化と資源化の努力により、平成52年まで現在の処分場を利用できる見込みとなっています。

次の世代がごみ問題で困らないよう、減量化や資源化への日々の小さな積み重ねがとても大事なのです。ごみの分別にわたしたちの未来がかかっているのです。

埋め立て場

平成25年には
いっぱいになる見込みだった...

ゴミの再資源化でずっと長生き
もっと減らして
もっと長生きさせよう!!

所管事務調査報告

産業建設常任委員会

●地域の発展と社会への貢献

10月27日最上町にある「(株)三和食品」において視察研修を行った。

当社は、最上町に本社を置き、宮城県利府町に仙台工場、登米市に協力工場の3社で構成されている。

経営理念として、「安全安心な食品の提供・地域社会への貢献・食文化の創造」を掲げ、顧客のニーズに合った商品開発・提供に努力していた。

新商品の開発では、材料や加工技術などの情報交換を重視し、他の食品会社との共同開発にも力を入れていた。

更に、地域の一員として地場農産物を活用した商品づくりも当会社の特徴であり、登米市にある協力工場では、農産物栽培地域と食品会社の共存共栄のモデルとして高く評価されていた。生産者と共に素材を見極め、お客様の信頼と満足の



いく商品開発に邁進する」という社長の言葉に大きな熱意を感じた。地域と共存共栄を求め、貢献出来ることが地域に根差した会社の使命ではないかと確信しました。

総務文教常任委員会

●定住促進の課題は

10月28日、宮城県七ヶ宿町において、「地域担い手づくり支援住宅の取り組み」の研修を行った。

七ヶ宿町は、奥州山脈越えの主交通路線から外れたことや、ダム建設による集落の一部水没等から、5,500人を超えていた人口が、1,500人に減少し、町では様々な施策を試みたが、人口減少に歯止めがからず、若者の定住が大きな課題になっていた。

この様な現状の打開策として始まったのが「夢のマイホームが無償であなたのものに」です。内容は、約2,200万円の範囲内であれば、間取りなど自由に決められ、更に、月額35,000円の家賃で20年間入居すれば、土地と住宅が無償で取得出来る制度でした。対象は中学生以下の子供を持つ家族。

初年度は2棟の募集に、



2家族の入居があり、次年度にも2棟、2家族7名が入居予定でした。町では定住や他地域からの移住促進の施策として、コンビニの建築や、保育料・学校給食、18歳までの医療費の無料化等、子育て支援には並々ならぬ覚悟が感じられた。

この研修を踏まえ今後の村のあり方について、真剣に取り組みむべきと思いました。

そうだったの！ 村議会

村議会の紹介コーナー

No.6

今回も、 『議員の仕事』

議員自ら取り組む議事などの他に、住民からの要望を議会が受け付け、審議するものもあります。

請 願

住民の皆さんが、行政に対して新たな整備や改善、廃止を訴えたい時などに、議会に提出するもの。

請願の紹介

「議会に請願を提出する場合、議員の紹介が必要」

請願の受理

「所定の要件を備えて提出。議長が受理」

委員会付託

「請願の内容に応じて二つの常任委員会どちらかに託す」

委員会審査

「内容が妥当か、実現の可能性があるか等の審査を行う」

審 査 報 告

「採択か不採択か、本議会で報告」

【採決した請願の効力】

法律上の保証規定はないが、議会はその実現について最善の努力をする責任があります。国や県に実現を求める場合も。

しかし、すべて簡単に実現できるものばかりではありません。内容をよく確認もせず、安易に採択することのないよう慎重に審議するべきだし、採択後の経過と結果の確認を行うなど最後まで請願者に対し責任を取る必要があります。

請願とは……

「住民自治の立場から、住民の代表機関である議会に、請願を通して住民の意思を反映させ、住民の願望である請願の趣旨の実現に努めさせるため……」

※国民の基本的権利のひとつとして憲法で保障。

後書き



干支について、気になっていることがある。干支の中に「何故」猫は

入っていないのだろうか。

そんな時、あるお話で、正月神様の所に、12番目まであいさつに来た動物を、干支にする。そこで、猫は日にちをネズミに聞いたなら、2日とうそを教えられ、外れてしまった。それから猫はネズミを見ると追いかけて回している。あくまでお話なのであるが、これも、ま、いいか、と思ってしまう。いくつかの些細なことですが、いくつになっても、「何故」があっても良いのでは、そこから、新しい発見が見つかるかも。今年は酉年。コッソツと「何故」を探して、羽ばたいてゆきたいです。

(早坂民奈 記)

本年もどうぞよろしく

お願いします

議会広報調査 特別委員会

委員長	矢口 智
副委員長	佐藤 勝
委員	早坂 民奈
委員	佐藤 雅之